

## 『建築とヴィオリンのたまで箱』によせて

### ～ 設立 40 周年記念講演会～

蝶が形づくられたアイアンの門を入るとアプローチの随所にウサギのブロンズが、玄関ではリスやキリンの彫刻がお出迎え。陽ざしを通してステンドグラスの色と光が子ども達を透過し元気に遊ぶ声を包んでいます。

社会福祉法人つくし会は昭和 52 年（1977 年）8 月 23 日法人認可を取得し、昭和 53 年（1978 年）2 月 1 日つくし保育園を開園しました。市内では 21 番目に開園された保育園として、今年度創立 40 周年を迎えました。

以来、社会福祉法人つくし会は、保育園の増改築、乳児棟ピーナッツ新設、教室のリノベーション、園庭整備等を実施し開園当初定員 90 名のつくし保育園は現在 200 名を超える定員となり平成 28 年（2016 年）4 月から認定こども園 “こどもえん つくし” として 40 年の時を刻み懐かしい園舎を残しつつ大勢の子どもが育っています。平成 24 年（2012 年）福山市神辺町道上に “みちのうえ保育所” を開所し、社会福祉法人つくし会は 2 つの乳幼児保育・教育施設を運営、その傍ら地元大学での託児保育・福山駅北口宮地記念館ビルでは大学の先生方と学生、保育教諭によるコラボレーション子育て支援 “ラーン&トーク” リトミック活動、高校生の保育体験など実施し多くの保育・教育の場、子ども・学生・大人との沢山の出会いと交流の場を広げています。出会った多くの皆様、卒園児、保護者、関係者の方々に感謝の気持ちを込め紙面をお借りし心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、社会福祉法人つくし会 40 年を記して計画しました「建築とヴィオリンとたまで箱」記念事業は数年前より準備を進めて参りました。

子ども達は多くの可能性を持ちながら “今を生きそして未来へその力を繋いでいます” 未来を担う子ども達の健全な育成と環境のために、豊かさと幸せを実感できる地域社会へ変革していくよう、保育・教育関係者、企業、地域、市民、みんなで手を携え良き関心を寄せ、関わりあい文化を伝えていくこと、こうした姿勢と知恵が私たち大人に問われ、大人の役割はとても大きく大切なことを痛感する 40 年でもありました。こうしたことを踏まえた上で、子ども達が生活する場を設計する、或いは子どもが元気に育つまち、子どもを含め働く人の心をのびやかに育み、大勢の人が集まる居場所づくり等、設計、建築家の役割と様々な関係者が繋がり学んでいくことは極めて重要であると思います。そして、音楽はどんな時代でも、どんなに年齢、文化的背景が違っても、この喜びと感動は共有できるものと信じています。それを、感じてほしいと願い計画しました。

この記念講演会が文化的な活動のエネルギーとなること、全ては 子ども達への健やかな成育の力となっていけるようにと願ってやみません。

ご後援を頂きました福山市、福山市社会福祉協議会、関係団体の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、ご理解ご協力いただく全ての皆様に心よりお礼申し上げます。

どうぞよろしくお願ひ致します。

社会福祉法人つくし会